

## 思考コードで入試問題を徹底解剖！

(学校が求める思考力が見えてくる)

2019 年度 雙葉 (国語)

思考コードの割合比較

			2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
変換 操作	全体 関係	変容 3	A3 3%		B3		C3	
複雑 操作	カテゴライズ	複雑 2	16%A2	44%	16%B2	10%	C2	
手順 操作	単純 関係	単純 1	33%A1	20%	35%B1	20%	C1 3%	
(数)	(言語)	合計	49%	67%	51%	30%		3%
			A 知識・理解思考		B 論理的思考		C 創造的思考	
			知識・理解		応用・論理		批判・創造	

\* 全設問数に対する割合を算出しています

文章の読解一題、詩の読解一題、漢字というここ数年ではあまりない出題でしたが、問題量は相変わらず多い上に、自分の考えを書く作文問題が加えられたことで、とまどった受験生も少なくなかったと思われます。ただ、基本的な知識と読解の基礎をきちんと積み上げることで、十分に対応することができ問題であったとも言えます。

### □ 説明文 A1～A3、B1～B3、C1

世界各地の生物の調査を通じて筆者が経験した、常識にとらわれず実際に自分の目で見て考えることの大切さ説明したⅠの文章と、「頭のいい人」と「頭の悪い人」では、見えているものや得られるものが異なることを説明したⅡの文章を比較した問題です。

ⅠとⅡを関連付けた問題もあるため、比較対照する思考力が必要です。問一は、直後に書かれた内容を短くまとめます。問三は直後に書かれた抽象的な内容を具体的に表現することが求められます。問四は、直前に書かれた内容を短くまとめます。問七、問八は指示語の内容などを短くまとめて答える問題ですが、どちらも直後に書かれた内容を理解し、必要な言葉だけを使ってまとめることがポイントです。問十一は、線部の直後に理由が書かれており、その内容を説明します。問十一までがⅠの文章に関する問題です。

問十三は比喩表現をわかりやすく説明する問題で、「頭のいい人」がしてしまいがちな内容を記述します。問十四から問十七は、言葉に関する基礎知識の問題で、知らない場合は前後の文脈から判断することができます。問二十一は、文章中に述べられた「頭のいい人」と「頭の悪い人」のうち、自分が近いと思う方の立場としてその理由を説明する問題です。文章中にあるそれぞれの人の行動を自分にあてはめて考える思考力、そのように考える理由を具体的な自分の思考や行動とからめて表現する記述力が求められます。それぞれの立場をよく理解して書くようにしましょう。創造的思考が求められる C1 にあたる問題です。

## ☐ 詩 A2

童謡『鯉のぼり』の歌詞の解釈に関する問題です。古語が注なしにそのまま表現されているため、選択肢の内容と歌詞を照らし合わせながら理解していく必要があります。慎重な読解が求められます。